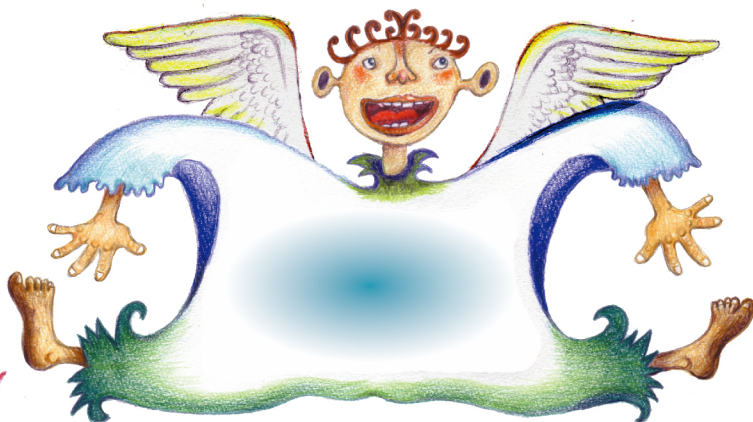


「大間原発」で事故がもし起こってしまったら、放射性物質は風に乗ってどこまで行くんだ



# 「大間風船計画III again」 & 「大間ビーチクリーン / 白砂まつり」

美しい白砂海岸をもう一度！



## 2015年8月23日（日）

8:00 白砂海岸集合（7/19 大間現地集会所でも解放地点を海へ下る）テント設置

8:30 ヘリウムガス入れ開始（1000個のエコ風船）

10:40 函館からのフェリー着

11:00 「大間風船計画III again」

11:45 みんなで昼食

12:45 「大間ビーチクリーン」

14:10 函館へのフェリー発

14:30 「大間ビーチクリーン」終了

15:00 撤収完了

※8月22日（土）

15:00 ～願掛岩ケビンハウス（佐井村）1棟（10人）確保しています。キャンプも出来ます。

また、昼食のお弁当の予約も受け付けます。希望者は中道まで連絡ください。

【連絡先】

大間原発反対現地集会所実行委員会（事務局長・中道雅史）

電話 070-5477-4296 メール [hankakunen@gmail.com](mailto:hankakunen@gmail.com)





## 大間ビーチクリーン / 白砂まつり

大間町出身で、毎年大 MAGROCK にも参加されている山田勝仁さんがこんな文章を書いています。「私が幼少時（1960 年代）には両地域の子供たちが互いの町内に立ち入るのは危険水域を侵すのと同じことだった。ささいな遺恨から両地域の小・中学生同士が村境に広がる白砂海岸で集団決闘（未遂）をしたのも語り草になっている。いわば「犬猿の仲」だったのだ。その白砂海岸が電源開発に買い占められ、原子炉建屋、関連施設が集中する一帯になっているのは皮肉な話ではある。

かつての白砂海岸は文字通り白砂青松の地。珪素を多く含んだ真っ白な砂浜が広がり、夏になると真っ赤なハマナスの実と青い葉が白砂に映える景勝地だった。

お盆の祭りの神事に欠かせない砂もこの海岸から採取したもので、白砂は祭りの天狗行列を先導するように、道に点々と配置された。むろん、今はその光景はない。」

白砂海岸が綺麗になって白い砂が戻ってきたら、お盆のお祭りの時には天狗行列の先導として白砂を置きたいですね。そんな想いを込めて祀りながら海岸の清掃ができればいいなということで「大間ビーチクリーン / 白砂まつり」と名づけました。

近隣の皆さんどうぞご参加ください。